

学力のとらえが変わっています！



下の表のように、果汁の量が□倍になると、それにもなって飲み物の量も□倍になるのではないのでしょうか。このことを使えば、果汁の量が180 mLのときの飲み物の量を求めることができますね。

果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

果汁の量が180 mLのときの飲み物の量は、何 mLになりますか。
180 mLが30 mLの何倍かをどのように求めたのかわかるようにして、飲み物の量の求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

令和4年度 全国学力・学習状況調査 小6算数 問題

× 知識を覚えるだけ → ○ 知識活用へ



そこで...石巻市学力向上プラン!

誰一人取り残さない「学力向上」

新しい時代の子どもたちに求められる「確かな学力」を「知識や技能に加え、学ぶ意欲や、自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力等」ととらえ、実態に応じて修正を加えながら、本プランによって「主体的な学習者」の育成を推進してまいります。

第Ⅲ期：R10～R12「主体的な学習者」の育成

【全国学力・学習状況調査の平均正答率、全国平均以上の維持を目指す】

児童・生徒一人一人が自分の良さを自覚し、自分が得た知識によって周囲の人を幸せにしようという意識をもち、主体的に学びに向かう児童・生徒を育成する期間とします。

第Ⅱ期：R7～R9「石巻スタイル」の確立

【全国学力・学習状況調査の平均正答率、全国平均を目指す】

第1期の実践の累積により、児童生徒の意欲を充実させ、授業力向上のポイントを明確化し、時間の自己管理ができる児童・生徒の育成が継続できる「石巻スタイル」を確立する期間とします。

第Ⅰ期：R4～R6「学力」に対する意識改革

【全国学力・学習状況調査の平均正答率、県平均を目指します】

「学力」は、単に「知識の暗記」という捉えから、社会を生き抜く力を身に付けるための「学び方を学ぶ力」であることへ、児童生徒、学校、家庭・地域が意識を変え、主体的な学びを確立する期間とします。

一人一人が
【学習意欲向上】

仲間と共に
【授業力向上】

自分の力で
【基本的な生活習慣の確立】

推進期間(第1期):令和4年度～令和6年度

石巻市学力向上プラン～ダイジェスト版～

～一人一人が 仲間と共に 自分の力で 一步前進～

「誰一人取り残さない」をキーワードに、生涯に渡って学び続ける「主体的な学習者」を育成します。推進期間1年目は、「学力」に対する意識改革を行い、社会を生き抜く力を育てます。

目指す主体的な学習者の姿

自分の力で

一人一人が

仲間と共に



HOP!



STEP!



JUMP!

意識改革

聞くだけの授業 → 仲間と学びあう授業

やらされる勉強 → やりたい勉強

テストの点数を上げる勉強 → 夢を叶えるための勉強

知識を覚えるだけ → 知識を活用

作業的な宿題 → 自分に必要な課題

他者との比較 → 自分自身の成長の比較

令和4年

石巻市教育委員会

石巻市の子供たちの学力向上に向けて～豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の作り手を目指して～



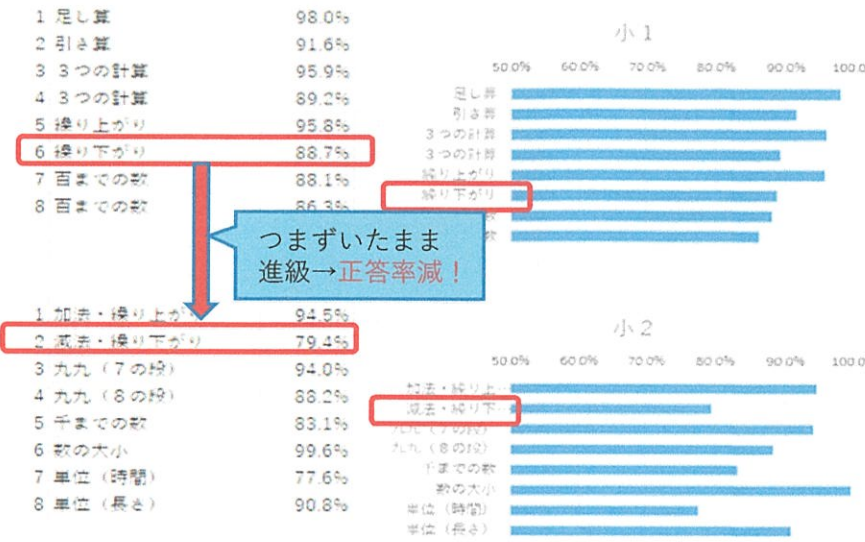
実態 その1

全国学力・学習状況調査平均正答率 **全国平均を下回っている**

学校	教科	年度	全国平均	県平均	石巻市平均	全国との差
小学校	国語	R3	65	62	60	-5
		H31	64	61	58	-6
	算数	R3	70	66	64	-6
		H31	67	64	65	-2
中学校	国語	R3	65	63	63	-2
		H31	73	71	69	-4
	数学	R3	57	52	50	-7
		H31	60	55	52	-8

実態 その2

つまずき解消しないまま進級進学していることが、さらなるつまずきにつながっている



実態 その3

平日のゲーム時間**多**・読書時間**少** 読み取り速度**遅**
令和3年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査より

質問項目	学校	全国	県	石巻市	全国との差
平日、1日当たり3時間以上ゲームをする。	小学校	29.0	30.3	34.6	+5.6
	中学校	32.3	29.6	41.3	+9.0
平日どれくらい勉強をするか。	小学校	62.5	62.0	65.5	+3.0
	中学校	41.8	35.7	33.2	-8.6
平日、1日当たりどれくらい読書をするか。	小学校	37.4	36.1	37.2	-0.2
	中学校	28.9	29.5	31.5	+2.6
解答を文章で書く問題について最後まで書こうと努力した。	小学校	81.3	78.9	77.0	-4.3
	中学校	73.7	72.5	69.3	-4.4
解答を言葉や数、式を使って説明する問題について最後まで書こうと努力した。	小学校	79.9	76.5	73.4	-6.5
	中学校	57.8	54.6	48.6	-9.2
国語の調査問題の解答時間は十分だった。	小学校	70.3	74.5	75.0	+4.7
	中学校	75.3	74.2	68.4	-6.9
算数(数学)の調査問題の解答時間は十分だった。	小学校	81.7	82.5	78.9	-2.8
	中学校	80.5	79.4	75.0	-5.5

対策 その1 学習意欲の向上へ

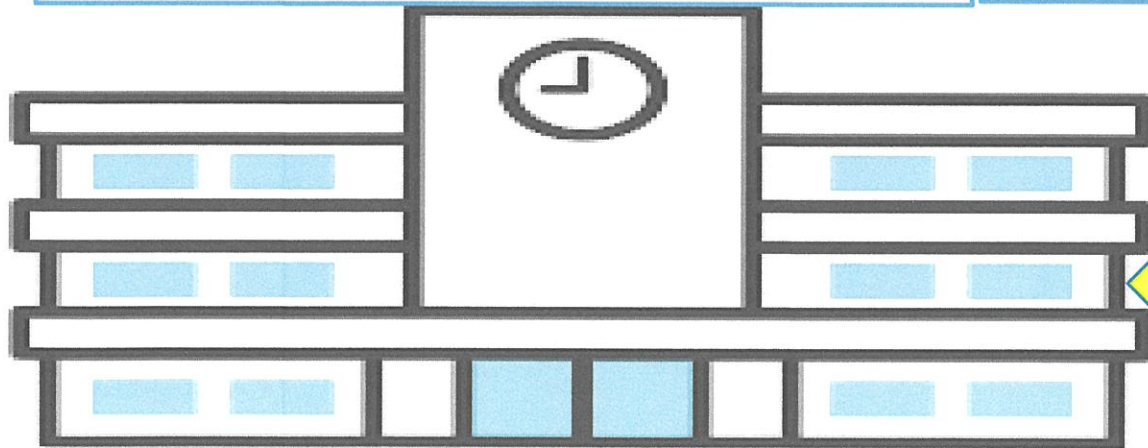
- ①標準学力調査結果の自己分析からPDCAサイクルの確立へ→あと1問正解するために必要な学習を考える
- ②タブレットドリルを活用
→「わかる」から「できた」「もっと知りたい」へ
- ③仲間と学ぶ協同学習→みんなで「できた」へ
- ④学びの土台MLAの実践→温かい人間関係づくり
自己有用感の実感

対策 その2 授業力の向上へ

- ①指導力向上研修→求められる学力を育成する授業づくりへ
- ②児童生徒の学びの支援→つまずき解消の時間を確保

対策 その3 基本的な学習習慣の確立へ

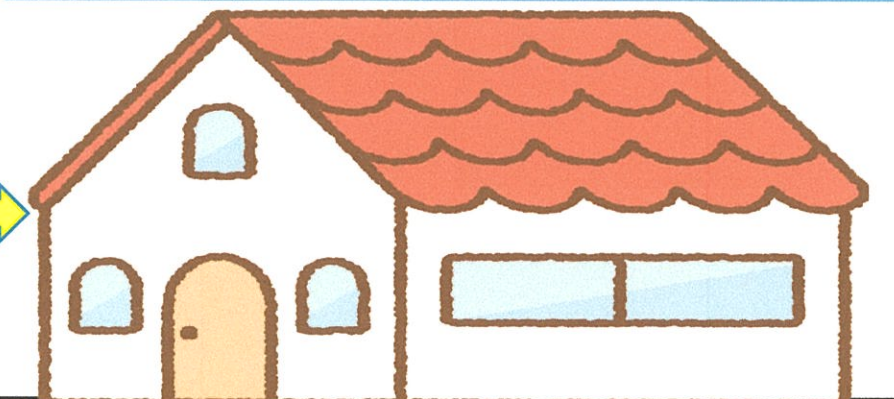
- ①保護者連携→つまずきや学習内容の共有
家庭での時間管理・自己調整力の育成へ
- ②読書時間の確保→「読む」から「考える」「書く」へ



【学力向上推進事業】
 ・標準学力調査 ・タブレットドリルの活用
 ・9年間を見通した望ましい学習習慣の確立
 ・市教委訪問

学校と家庭の連携

・学び支援 ・三者面談 ・読書
 ・基本的生活習慣 ・自己調整力 ・時間管理



【学校わくわくプラン事業】

- ・学校わくわくプラン推進会議
- ・小中連携
- ・指導力向上研修 (MLA)
- ・市教科等指導員

学びの土台

【コミュニティースクール】

- ・行事や体験
- ・地域連携
- 【学び支援コーディネーター】
- ・基本的生活習慣
- 【幼保小連携】
- ・読み聞かせ
- ・愛着形成